

公益社団法人 茨城県作業療法士会
令和4年度 第2回 常任理事会 資料

令和4年9月7日19時00分、Web会議ツールZoomによるWeb会議において、理事12名出席の下、常任理事会を開催し、下記議案に付き全員一致をもって可決確定の上、21時00分に散会した。

日時：令和4年9月7日（水） 19：00～21：00

インターネット会議システム ZOOM を使用し、Web 会議形式で実施。

出席：（理事）大場、寺門、小森、山倉、笥、細田、後閑、稲葉、田口功、浅野、荒井、松本 12名
書記：松本

【I 審議事項】

1. 時給の再改定について 財務部 後閑部長 →一部承認
＜審議概要＞
 - ・茨城県の最低賃金が10月より911円になるため、再度賃金の変更が必要になり議題に上げた。
 - ・今後も最低賃金の上昇が考えられるため、950円まで上げたほうが良いのではないかと。
 - ・最低賃金の見直しに合わせて事務局員の水野さんの時給の見直しも検討したい。
 - ・研修の拘束時間は、今のオンライン研修下では受付や終了時間など対面の研修と比べると短くなっている。
 - ・これまでこれほど急ピッチに最低賃金が上昇したことは珍しい。
 - ・拘束時間に関して来年度に向けて学術局を中心に整理していく。事務局も協力していく。＜審議結果＞
 - ・時給に関しては950円、水野さんの時給に関しては会計社と話し合い、時給1000円に変更していく。
 - ・今後も最低賃金の見直しに合わせて50円もしくは100円単位で時給を増やしていく方向で会計社に確認をする。
 - ・会計社の確認が取れ次第、理事会決裁をする。
2. インボイス制度に対する当法人の対応について 財務部 後閑部長 →継続審議
＜審議概要＞
 - ・前回の理事会以降、各部局にこれまで関連のあった業者の集約をお願いしており、準備を進めている。
 - ・その中で公益社団法人として今後も免税事業者のまま運営していくか、課税事業者として関係業者に報告する必要がある。
 - ・当法人は地域に貢献することを目指して運営しているため、免税事業者であることも重要である。
 - ・今までお付き合いのある事業所の中で適格請求書が求める事業所の確認が必要である。
 - ・適格請求書を作成するにあたり、会計業務の費用の上乗せが考えられる。
 - ・免税事業所の方向で関係者と準備を進める。
 - ・インボイス制度に変更した場合、現場の対応として発注のメールをPDFデータで残す必要がある。＜審議結果＞
 - ・免税事業所の方向でかわりのある事業所に確認していく。
3. 会計社への報酬改定について 財務部 後閑部長 →継続審議
＜審議概要＞
 - ・インボイス制度への移行に合わせて会計業務量が増えることで、会計社より報酬の改定があり、これまでの会計社のままだと公益目的認定基準の達成がより難しくなる。

- ・令和会計社にはこれまで一般社団法人から公益社団法人への移行の際、とても協力していただいた。
- ・次の会計社は今後検討するが、令和会計社は今年度までで解約する方向でよいのではないかと。

<審議結果>

- ・今後の会計業務について、会計社の選定を含め今後検討する。

4. 災害時の安否確認方法について 災害対策委員会 寺門委員長 →承認

<審議概要>

- ・安否確認について昨年度まで FAX を使って行っていたが、今年度から google フォームを使って安否確認をする方法で議案を挙げた。
- ・これまでは状況確認シートをメルマガで配信、状況確認シートを HP からダウンロードしていただきそれを事務員の水野さんが確認する流れになっていた。
- ・今年度は、HP で安否確認シミュレーションの案内を掲示し、メルマガで google フォームを流す。そして、災害対策委員会で集約する。
- ・災害時の安否確認をしたときに避難所から FAX を送るのは難しいため、今回このように変更した。
- ・メルマガだと災害時、メールが届かない可能性がある。
- ・今後は個人が安否確認できるツールを作成する必要がある。

<審議結果>

- ・今年度は試験的に google フォームを使って安否確認を行う方向で進める。

5. 虐待防止の冊子について 地域貢献局 細田局長 →継続審議

<審議概要>

- ・介護分野以外にも障害福祉でも虐待防止の研修の実施が位置付けされており、当法人では事例や茨城県の差別に関する条例、合理的配慮などを織り込んだ冊子を作ればと考えている。
- ・対象は今のところ会員に向けてだが、最終的には当事者に届くものが必要と考える。
- ・すべての部局で協力が必要である。
- ・虐待防止については単年度ではなく継続的に続ける必要がある。
- ・今後、重要な事業になってくるため新設の部局など検討していく必要がある。

<審議結果>

- ・冊子作製を進めながら新規部局など継続的に検討する。
- ・冊子の内容に関しては事例を中心にまとめる。

【Ⅱ報告・連絡事項】

- 第 14 回茨城県作業療法学会準備 進捗報告について 学会部 浅野部長
 - ・一般演題が 27 件の応募があったが、募集期間が短いという話があったため 9 月 18 日まで一般演題募集の延長を行った。
 - ・10 月半ばに動画の提出期限とした。
 - ・今後、学会参加者の受付は常時受付を行う。
 - ・オンデマンド配信に向けて (株) Vimeo との契約。HP 上で動画配信が可能。
 - ・実行委員会にて学会機関誌の作成を進めている
 - ・ZOOM オプションの契約は近くなったら浅野部長が行う予定。
- 茨城県の監査について 法人対策委員会 荒井委員長
 - ・10 月 17 日に監査が入ることとなった。
 - ・会計関連、総会議案書など必要書類を確認し準備しておく。
 - ・当日、局長の皆様はお集まりいただくか、現地に来られない場合は電話対応していただき、各事業については説明をしていただく。
- 第 1 回 OT×プロフェッショナル研修会 教育学術局 笥局長
 - ・テーマに関して「ALS のコミュニケーション支援の実践とマイボイスの意義」。

- 東京都立神経病院の本間先生に依頼している。
 - 内容として声が出なくなったときに声を残しておいて AI を使いコミュニケーションをとるマイボイスについて説明していただく予定
 - できれば年度内で行う予定だったが。本間先生の予定から年明けに実施を計画している。
 - 研修担当は箕局長と JA 取手の渡辺さんが担当する。
- 令和4年11月6日（日）9：00～ 茨城県作業療法士会事務所または ZOOMにて開催予定

以上